



梅だより



～午後のひととき～

LIBRARY
 図書館 広報誌 25号
 2008年 12月発行

SHOKEI GAKUIN UNIVERSITY

URL : <http://www.shokei.ac.jp/lib/>
 名取市ゆりが丘4丁目10-1
 TEL : 022-381-3440 FAX : 022-381-3441

図書館の便利な使い方 貸出編・2



●「研究室貸出中」の資料を借りる

●所蔵：

巻号	予約人数	刷年	所在	請求記号	資料ID	状況	備考	貸出区分
1 <input type="checkbox"/>	<input type="button" value="予約"/>	0	開架	<input type="text" value="930.2"/> <input type="text" value="Mi"/>	1125648	研究室貸出中		

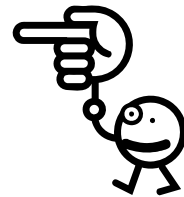
上記のように、“状況”の部分で「研究室貸出中」と表示されている資料は、先生方が利用しています。このような資料でも利用することが出来ます。詳しくはカウンターへおたずね下さい。

※「研究室貸出中」の資料を借りた場合、延長や「実習貸出」「卒業・卒研貸出」は出来ません。

●貸出期間の延長手続きをする

「もう少し同じ本を借りていたい」

⇒延長手続きをすると便利です！



手続きの仕方は二通りあります。

★貸出期間内に学生証と借りている図書をカウンターへ提示し、
 延長手続きをする。(延長したい旨をお伝え下さい。)

★マイライブラリで延長手続きをする。

※延長は1回限りとなります。

※「実習貸出」「卒業・卒研貸出」、及び長期休暇期間に貸し出した資料の場合は延長出来ません。

※延長したい資料に予約が入っている場合は延長出来ません。

※電話での延長は受け付けておりません。

★ 日本史の中のクリスマス Part II ★

今回は前回同様、クリスマスがどのように日本に受け入れられたのか、そして、どのように現在の形に変化していったのかをご紹介します。

今回は、クリスマスがどのように日本人に受け入れられたのか、そして、どのように現在の形に変化していったのかをご紹介します。

図書館1階で開催している企画展示《明治～昭和初期のクリスマス》もあわせてご覧ください。

★近代のクリスマス ～ 現在のクリスマスはいつごろから定着したのか

【江戸時代末期】

長い鎖国時代から開国し、日本には各国から外国人が来るようになりました。そんな中、日本で初めてクリスマスツリーを飾ったのは、プロイセンの東方アジア遠征艦隊司令官兼全権使節のオイレンブルグと言われています。クリスマスの準備にあたった彼の随員たちは、江戸中を駆け回り、クリスマスツリーに適した樅の木を探した、という話が残っています。ようやく見つけた樅の木には様々な飾り付けがされ、天井まで届くような素晴らしいクリスマスツリーが出来上がり、クリスマスパーティーを盛り上げたといいます。

【明治時代】

1873（明治6）年にキリスト教禁止令が解かれ、キリスト教が公認となり、再び日本に宣教師がやって来るようになりました。

その翌年にあたる1874（明治7）年、築地大学（明治学院の前身のひとつで、アメリカ長老教会経営の学校）で、日本人が初めて主催するクリスマスパーティーが行われました。そして、初めてサンタクロースも現れたのですが、何と、純日本風のサンタクロースでした。袴姿で、腰に大小の刀を差し、マゲのカツラをかぶった「殿様サンタ」だったそうです。ちなみに、「殿様サンタ」が現れたのは、あとにも先にもこの一度だけだったとのこと。

当時はキリスト教信者ですらもクリスマスに関する情報や知識が不十分でした。1895（明治25）年に『久里寿満寿』と題された家庭向けクリスマス読本が刊行されました。クリスマスの起源や歴史、歌やサンタクロースに関する説明、クリスマスに関連した物語などがわかりやすく解説されている本でした。この『久里寿満寿』や『女学雑誌』の読者（主に高等教育を受けた女性）によって、日本のホームクリスマスが徐々に行われるようになりました。

【大正時代～昭和初期】

1904（明治37）年の日露戦争を経て、クリスマスはキリスト教信者だけではなく、一般にも急速に浸透していきました。東京帝国大学（現東京大学）の学生たちがクリスマス会を開催したり、日本文学でもクリスマスを題材にした作品が出始めました。また、児童向けの雑誌が、12月になるとクリスマスの特集を組み始めたのもこの頃からです。

また、ラジオではクリスマス・キャロルとして、「きよし静けし」（現「きよしこの夜」）「ノーエル」（現「牧人ひつじを」）「ナザレ」「もろびとこぞりて」などの讃美歌が放送されるようになりました。

【戦時下】

1937（昭和12）年に勃発した日中戦争を機に、国内は戦時体制下におかれ、クリスマスを自粛しなければならない状態になりました。警視庁がクリスマスの催しをしている営業者を処分したり、右翼団体のクリスマス禁止運動、特高警察によるクリスマスの取り締まりが強化され、デパートや劇場などにもクリスマスの催しを自粛するよう通達が出されました。また、雑誌や新聞のクリスマス関連記事や広告も掲載されなくなりました。

1941（昭和16）年12月8日の真珠湾攻撃を皮切りに、太平洋戦争が勃発します。日本は軍事一色となり、カタカナ語は「敵性語」とされ、キリスト教も監視下に置かれるようになりました。そのような中でも、恵泉女学園や自由学園は、軍の監視下でクリスマスを祝ったそうです。

【戦後】

終戦直後、日本は GHQ（連合軍最高司令官総司令部）の占領下にありました。進駐軍は、皇居の前にサンタクロースを出現させたり、飛行機に乗ったサンタクロースがパラシュートで飛び降りたりというパフォーマンスを行ったそうです。

戦災孤児を収容していたホームでは、デコレーションケーキや果物の缶詰、毛布を子供たちにプレゼントしたり、児童劇を上演したそうです。また、満洲などからの引き揚げ孤児を収容していたホームでも、後援会の人々がお菓子や料理を作ったり、サンタクロースに扮して子供たちにプレゼントを配ったといひます。

日本独特のクリスマス・デコレーション・ケーキの原型が出来たのは 1950（昭和 25）年ころのことで、物資統制の解除を受けた不二家がデコレーション・ケーキを大量に作ったのが始まりだといわれています。それより 2、3 年前に発売されたのが、長靴をかたどった銀色のブーツにお菓子をたくさん詰め込んだクリスマスブーツです。これも日本独特のクリスマスのお菓子です。

【現在】

1951（昭和 26）年の日米安全保障条約が調印され、日本は占領体制から開放されました。その前年に起きた朝鮮戦争の軍需特需によって日本経済は好転しました。年の暮れになるとデパートのクリスマス商戦は過熱し、家族向け商戦の目玉としてサンタクロースが採用されました。

1955 年から始まった「神武景気」を受け、一般家庭にも家電が普及し、マイホーム指向も高まるようになりました。これを受けた当時のメディアは、ホーム型クリスマスをアピールするようになり、「クリスマスをみんなで楽しく迎えるために」といった見出しで、ホームパーティーの過ごし方を解説しています。日本基督教協議会と家庭新生活運動専門委員会も『家庭クリスマスの守り方』という冊子を編集・発行し、クリスマス・ツリーやサンタクロース、クリスマス料理、プレゼントを紹介しています。

1960 年代にはラジオやテレビでクリスマス特集番組が放映され、国内のクリスマスだけではなく、世界のクリスマスを紹介したりと、ホーム・クリスマスの隆盛に拍車をかけました。

近年ではクリスマスが近くなると、ビルや店などだけではなく、自宅をクリスマスイルミネーションで飾り付ける家庭も多く見かけます。クリスマスは宗教行事ではなく、習俗行事として日本にすっかり定着しました。

尚絅学院大学では、恒例のクリスマス礼拝が 12 月 16 日に行われます。

今年のクリスマス礼拝は、日本でのクリスマスの歴史を思い出しながら、心静かに祈りを捧げてみてはいかがでしょうか。

《参考文献》

- 『クリスマス どうやって日本に定着したか』（クラウド・クラハト、克美・タテノクラハト／角川書店／1999） 196.3/K
- 『クリスマスの招き 聖書伝承・歴史・美術』（今橋朗・船本弘毅・松本富士男 編／燦葉出版社／1983） 196.3/I

《参考サイト》

- ・日本クリスマス博物館 <http://www.christmasmuseum.jp/index.html>
- ・ナショナルジオグラフィック <http://nng.nikkeibp.co.jp/nng/index.shtml>
- ・Wikipedia（URL 省略）

●冬休み貸出のお知らせ（学部学生対象）

貸出期間：12/8（月）～12/22（月）

貸出冊数：10冊



返却日：1/13（火）

どうぞご利用下さい！

●12・1月の図書館のご案内

12月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

1月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	⑤	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

●開館時間

月曜日～金曜日 9：00～19：00（2階閲覧室は8：30からご利用いただけます）

土曜日 10：00～14：00

※12/16（火）…クリスマス礼拝のため閉館

※12/23（火）から1/4（日）の期間は、冬休みのため閉館

※1/5（月）の開館時間…9：00～17：00

※他大学へ複写依頼をする場合、12月2週目以降に受け付けた分の文献のお渡しは1/5以降になることがあります。ご了承下さい。